



【北演29 ヘリ緊急後送患者受け入れ】 平成29年9月21日・24日

自衛隊札幌病院（病院長：上部陸将）は、平成29年9月21日（木）及び24日（日）北部方面隊総合戦闘力演習（北演29）におけるヘリ緊急後送患者（演習状況）の受け入れを実施した。

ヘリによる緊急後送患者の受け入れ決心に基づき、所要の資器材を整えた搬送チームは着陸場（21日：真駒内駐屯地、24日：丘珠駐屯地）へ前進、ヘリから患者を移送した救急車内では、モニター装着による患者監視及び後送間救護を施すとともに、病院へ通報を行い受け入れ態勢の万全に期した。

一連の行動にて、患者の状態に応じた資器材等の準備、着陸場への進出、機内における騒音下での意思疎通、救急車への安全な移送・後送間救護及び病院への引き継ぎ等の手順の確立を図った。



UH-1Jから救急車へ迅速安全に移送（真駒内）



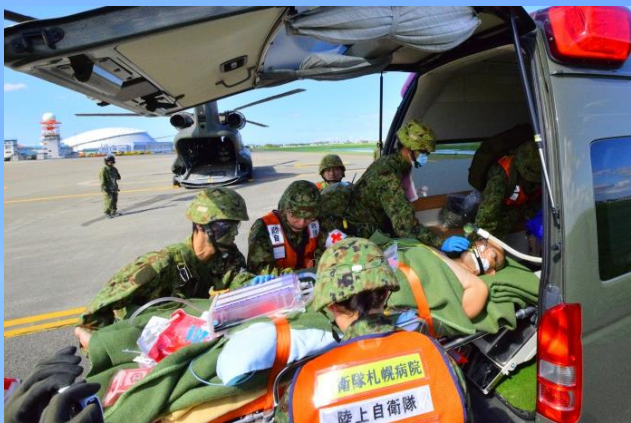
患者をストレッチャーへ移動（真駒内）



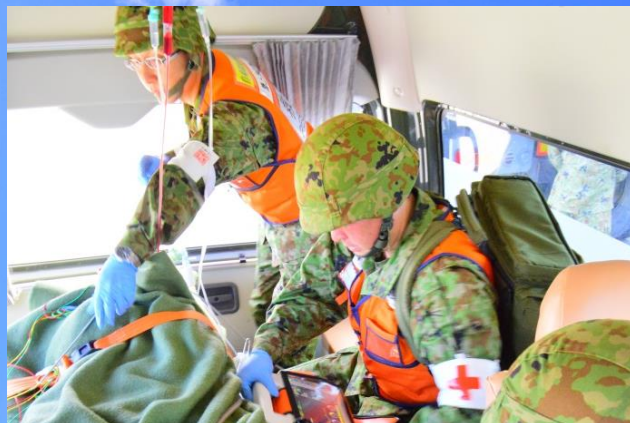
自衛隊札幌病院（救急外来）への搬入



CH-47機内でストレッチャーへ収容（丘珠）



患者を救急車へ収容（丘珠）



後送間救護（丘珠）

